

『触覚の魅力開発』 レジメ

日本オリエンテーション『学びあいの「場」』 2012/03/08

日本オリエンテーション客員主席研究員高橋正二郎作成

○ 触覚とその周辺

● 生活空間での出現と研究状況

▶ 触覚の強度を表わす機会が少ない

- 「今日の味噌汁、少ししょっぱい」に相当する触覚の表現の少なさ
- 生まれてからの生活場面での経験の希薄 → お風呂の湯加減

▶ 慣用句にみる、触覚（体性感覚）表現

- 「そんな、**カタイ**ことを言わずに・・・」、「どうも**軽く**見られているようだ」、「**冷たい**人だ」、・・・
- 硬い（堅い）⇔柔らかい、重い⇔軽い、暖かい（温かい）⇔冷たい、・・・

▶ 最近のセンサー研究

- 生理学、計測工学 → 触れている状態の記述化（形状、テクスチャ）
- 官能表現が取り残されているのが心配

● 生理学からみた感覚の分類

▶ 特殊感覚

- 視覚、聴覚、味覚、嗅覚、平衡感覚

▶ 体性感覚

- 表面感覚（**触覚**、圧覚、温覚、冷覚、痛覚）、深部感覚

▶ 内蔵感覚

- 臓器感覚、内蔵痛覚

● 体性感覚の特殊感覚化

▶ 指の先、舌の先、口腔内、（性器：臓器感覚）

▶ 中指の先 → テキスタイルや紙などの官能評価

○ 化粧品における触覚の魅力

● 気持ち良さの開発

▶ 「夢のある化粧品を気持ちよく使っていただく」

- 気持ちよさ①：額よりも頬 → 広い面積の部位：そよ風を感じるのも頬
- 気持ちよさ②：ゆっくり → お母さんが子供をさする速さ？
- 気持ちよさ③：頬よりも手 → キャンバス（Ⅱ型）よりもブラシ（Ⅰ型）

● 化粧品の官能空間（使用感の官能空間）

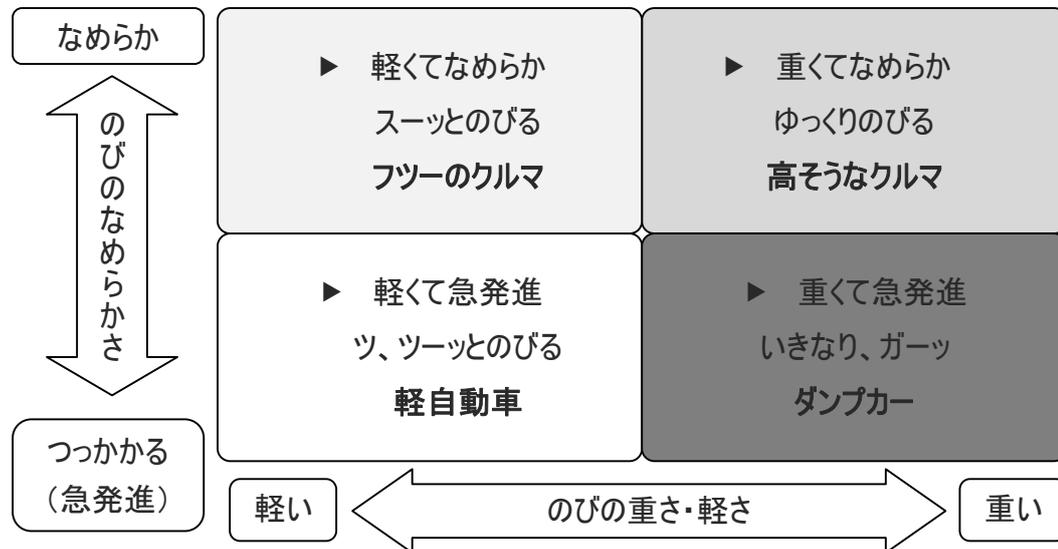
▶ 極端に弱い刺激領域、複合的な同時刺激

- べたつき とりもち、納豆、オクラ・・・
- のび 摩擦感、付着感、・・・（物性的には粘弾性）

▶ やさしさの方向へ官能空間の座標軸が移動

- 「凜としたピシャパタ刺激」から「やさしく包み込む」領域へ座標軸が移動

- 厳しい環境、人間関係の希薄化・バーチャル化
- 美容液の出現により、官能空間上で化粧水は進化、乳液は置き去り
- ▶ 化粧品を楽しんでいただく要素、使用感：のび（ブラシ型）



- 特殊感覚に特有の性差：刺激に対する耐性
 - ▶ マイルド感への反応 → 女性：お顔のお肌、男：ツラの皮
- 体性感覚にまつわる化粧品のパッケージ仕様：コンパクトの例
 - 重さについて
 - ▶ 心地よい重さ 115g
 - ▶ 携帯に便利 95g
 - 形 → 女性は、角やエッジへの忌避感が強い